

インストレーション・マニュアル

VISUAL PERFORMANCE[®] ROUND SPEAKERS AND SQUARE ADAPTERS

はじめに

このたびは、Sonance Visual Performance[®] ラウンドスピーカーをお買い上げいただき、誠にありがとうございます。この新しいスピーカーは、適切に設置されれば、何年にもわたってエンターテイメントをお楽しみいただけます。

箱の内容

ビジュアル・パフォーマンス天井埋め込み型スピーカー・ボックスには、ビジュアル・パフォーマンス・スピーカー（2台）、塗装可能グリル（2個）、取り付け用カットアウト・テンプレート（2個）が含まれています。

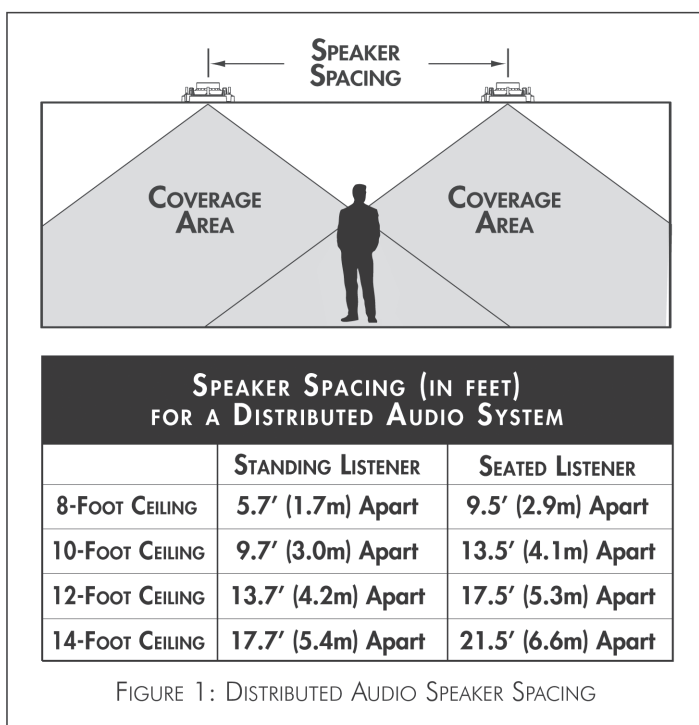
注：SST/SURスピーカーボックスの内容物には、（1）ビジュアル・パフォーマンス・スピーカー、（1）塗装可能グリル、（1）取り付け用カットアウト・テンプレートが含まれます。

スピーカー配置

ステレオスピーカーの配置（2チャンネルシステム）

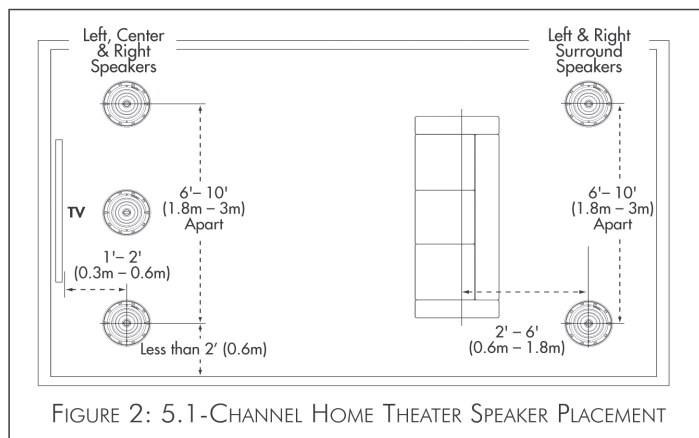
- 左右のスピーカーの間隔は1.8m～3mとし、メインリスニングポジションはできるだけスピーカーの中間に近づけます。
- 一部のスピーカーは、ウーファー/ミッドレンジ/ツイーターの角度が変更可能で、ドライバーをメインリスニングエリアに向けて直接回転させると、ステレオの音場を最大化できます。

画像の左側にある図2と図3の左右のスピーカーの配置を参考にしてください。



ホームシアターのスピーカーの配置L、センター、Rのスピーカー（図2を参照）

- L、センター、Rのスピーカーは、ビデオスクリーン前方0.3m～0.6m、1.8m～3mの間隔に設置し、センターチャンネルは左右のスピーカーの中間になるべく近づけます。
- メインのリスニングポジションは、スピーカーから1.2m～2m離してください。

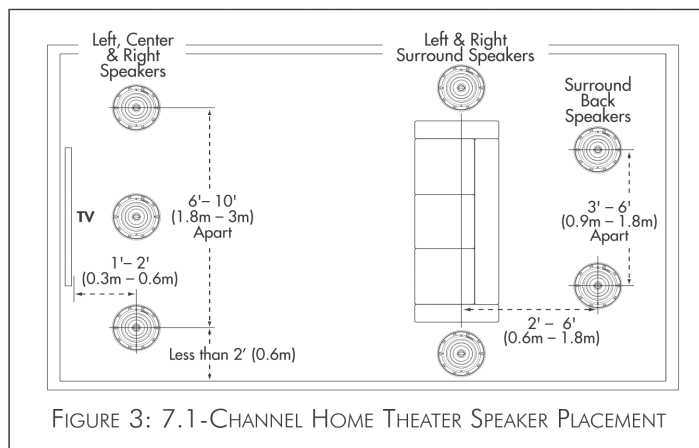


サラウンド・スピーカー-5.1チャンネル・システム（図2参照）

- 左右のサラウンドスピーカーの位置は、リスニングポジションの0.6m～1.8m後方にします。スピーカーの間隔は1.8m～3mとします。

サラウンドスピーカー-7.1チャンネルシステム（図3参照）

- 左右のサラウンドスピーカーは、リスニングポジションの真横に、1.8m～3m離して設置してください。
- サラウンド・バック・スピーカーは、リスニング位置の0.6m～1.8m後方に設置します。サラウンド・バック・スピーカーは、左右のサラウンド・スピーカーよりも近く、0.9m～1.8m離して設置します。



VISUAL PERFORMANCE® ROUND SPEAKERS

取付けの前に

1. スピーカーの設置場所を決めます
(P1の「スピーカーの設置」を参照)

2. スタッドファインダーを使用して障害物調査を行い、スピーカーの妨げとなるスタッド、電線管、パイプ、暖房ダクト、ポケットドア、エアリターンが天井内に無いことを確認してください。障害物について確信が持てない場合は、外形の中央に小さな穴を開け、コートハンガーのワイヤーを挿入し、障害物の可能性がないか触ってみてください。

3. キーホールソーまたは乾式壁用ボードソーを使って取り付け穴を開け、スピーカーワイヤーを取り付け穴からアンプの位置まで引き込みます。

注：スピーカー配線を天井裏に通す前に、各地域の建築基準法をご確認ください。

取り付け

Sonanceビジュアル・パフォーマンス・スピーカーには、既存の天井に直接素早く取り付けられる一体型Roto-Lock®取り付けシステムが採用されています。

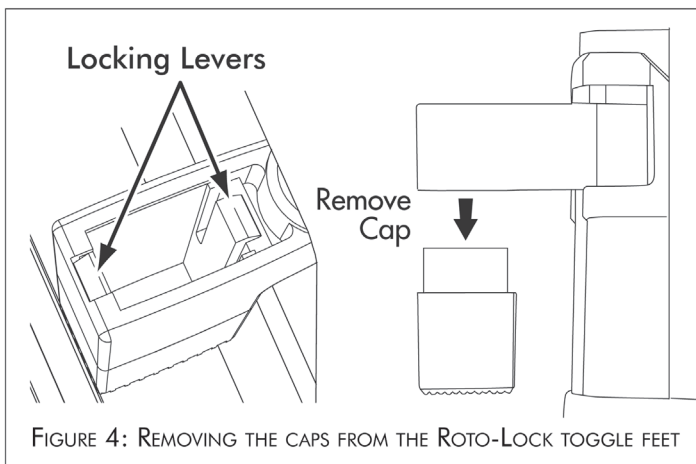
1. 各スピーカーのリード線から絶縁体を6mm~12mm剥きます。撚り線をねじるか、露出したワイヤーをハンダで錫メッキします。

注意：「+」と「-」の素線同士が接触するとショートし、アンプを損傷する恐れがあります。

2. スピーカーの端子はバナ式になっています。各端子の上部を押下げてコネクタを開き、露出したワイヤーをスプリング端子の穴に挿入します。

スピーカーのプラス側のバナ端子には赤い点、マイナス側のバナ端子には黒い点が表示されています。

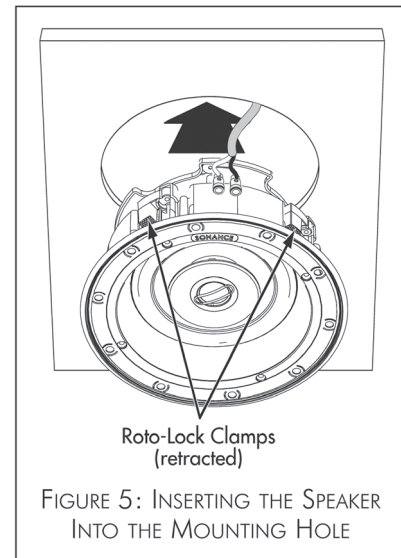
アンプの「+」をスピーカーの「+」に、アンプの「-」をスピーカーの「-」に接続したことを再確認します。



3. すべてのRoto-Lockトグルフットが、取り付け穴の境界線内に収まるように収納されていることを確認します。

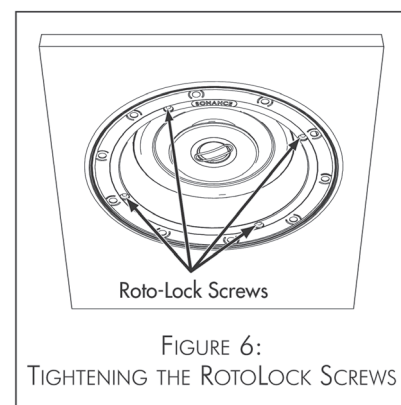
スピーカーを天井の穴に挿入します (図5)。

Roto-Lockシステムは天井材厚さ32mm、トグルフットキャップを外すと天井材厚さ48mmに対応します。



4. 二重の乾式壁やその他の厚い天井材に取り付ける場合、2ピースのトグルフットの一部を取り外す必要があるかもしれません。小型ドライバーを使用して、2つのロックレバーを静かに外します (図4)。

5. スピーカーバツフル前面のネジを締めます。Roto-Lockトグルフットは自動的に所定の位置に回転し、スピーカーのクランプを開始します (図6) ネジに抵抗を感じれば、スピーカーは正常に固定されています。



注意：締め付け過ぎないように、常に低トルクでの締付を行ってください。

注：スピーカーのフレームが平らになるように、ROTO-LOCKクランプのテンションを調整してください。これにより、グリルがスピーカーの周囲全体で天井に確実に接触し、適切にフィットするようになります。

6. マイクロトリムグリルは、スピーカーフレームにある数個の小型で強力なマグネットで固定されています。グリルをスピーカーに当てると、マグネットがグリルをしっかりと固定します。正しく取り付けられた場合、グリルトリムはスピーカーの全周で壁に接触するはずですが。

VISUAL PERFORMANCE® ROUND SPEAKERS

スピーカーの調節

回転式ウーファーとミッドレンジ/ツイーター

一部のビジュアル・パフォーマンス・丸型・スピーカーは、ウーファー/ミッドレンジ/ツイーターの角度が変更可能です。モピーカーをステレオで使用する場合、またはホームシアターのフロントレフト/センター/ライトスピーカーとして使用する場合は、ドライバーをリスニングエリアに向けて直接回転させてください。スピーカーをホームシアターのサラウンド・チャセネル・スピーカーとして使用する場合は、ドライバーをリスナーから離れた壁や窓に向かって回転させてください。

ドライバーを回転させるには、図7に示すように、ウーファー、ミッドレンジ、ツイーターのコーンの外周のリングを軽く押し込みます。コーン自体に触れたり圧力を加えたりしないように注意してください。

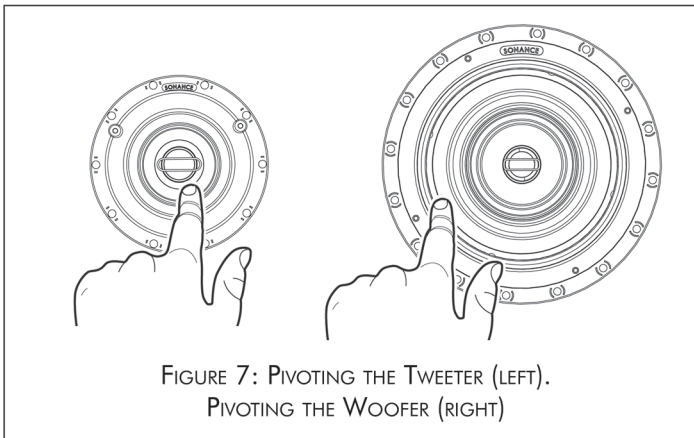


FIGURE 7: PIVOTING THE TWEETER (LEFT).
PIVOTING THE WOOFER (RIGHT)

VP68R & VP88R - ツイーターレベルスイッチ

VP68R と VP88R スピーカーにはツイーター・レベル・スイッチがあります (図8参照)。ツイーターからの出力を上げるには、スイッチをスイッチ下の「+」マークに向けてスライドさせます。ツイーターからの出力を下げるには、スイッチをスイッチ下の「-」マークに向けてスライドさせます。

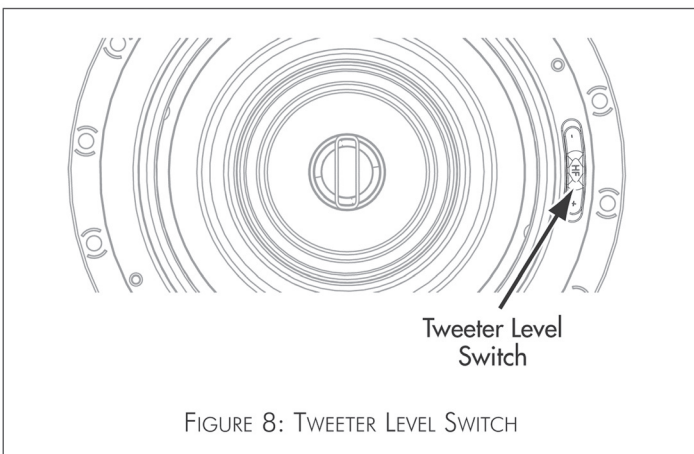


FIGURE 8: TWEETER LEVEL SWITCH

正方形アダプター取扱説明書

VPSQグリル付きスクエアアダプターは、取り付ける前に丸型スピーカーの背面からスライドさせて取り付けます (図9)。スピーカーを天井の丸型カットアウトに通し、Roto-Lockのトグル足をゆるく締めてから (図10)、スピーカーのスクエアアダプターを左右対称に合わせます (図11)。

スクエアアダプターを他のスピーカーや照明、空調設備と一直線に並べたら、Roto-Lockトグル・フットを低トルクで固定し、マグネット・グリルを取り付けます。スクエア・アダプターには小さなネジ穴があり、このネジ穴を使ってアダプターを締め付けることで、重量のあるテクスチャーの場合、角を天井と同じ高さに保つことができます。

注意：#6乾式壁用ネジと乾式壁用アンカーは付属していません。ネジは必ずしもすべての取り付けに必要ではありません。

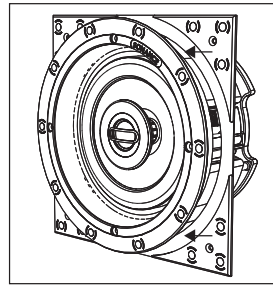


FIGURE 9

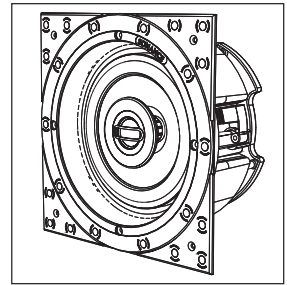


FIGURE 10

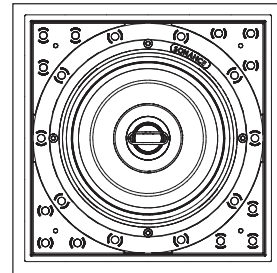


FIGURE 11

ボックス内容

VP スクエア・アダプター (2個)
グリル (2個)

販売単位

1ペア	製品番号
VP4SQ Square Adapter w/Grille	93029
VP6SQ Square Adapter w/Grille	93030
VP8SQ Square Adapter w/Grille	93031
5ペア	製品番号
VP4SQ Square Adapter w/Grille	93032
VP6SQ Square Adapter w/Grille	93033
VP8SQ Square Adapter w/Grille	93034

VISUAL PERFORMANCE® ROUND SPEAKERS

SST / SURのセットアップと接続

・サラウンド (SUR) として使用する

アンプまたはレシーバーからの+と-を、VP SST/SURスピーカーのいずれかの端子に接続します。赤いシールをはがし、スイッチをSURに設定します。

・シングル・ステレオ・テクノロジー (SST) として使用する

左チャンネルの+と-を1対の端子に、右チャンネルの+と-をもう1対の端子に接続します。

スイッチはSSTモードにプリセットされているので、変更しないでください (図12)

注意：スイッチをSURモードに設定すると、2組のバイディングポストが接続されます！

スイッチをSURモードに設定した状態で、2つの異なるアンプ・チャンネルをスピーカーに接続すると、アンプにダメージを与える可能性があります。

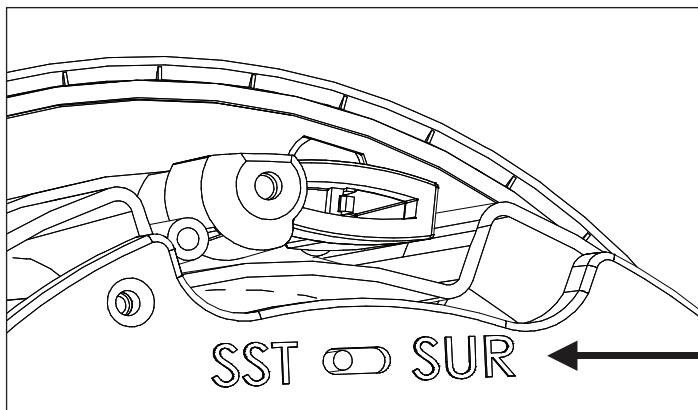


FIGURE 12

